

8月9日(日)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



歓喜が乱舞した。鮮やかに、烈しく。

8月8日(土) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 会場：ミュージック川崎シンフォニーホール 撮影：青柳聡

高 関健指揮東京シティ・フィル、市原愛、林美智子、錦織健、堀内康雄、東京シティ・フィル・コア(合唱指揮：藤丸崇浩)によるベートーヴェンの交響曲第9番。酷暑の午後に第9なんて、口にするのも暑苦しい、と言うなかれ。これが実にいい。

真夏こそ劇的な交響曲を、長篇を。今日の気宇壮大な「復活」や、メッセージ性のあるベートーヴェンは、フェスタサマーミュージックのテーマ曲にしてもいいと思う。各オーケストラに持ち回りで演奏してもら

のだ。
4月の「わが祖国」で本格稼働を始めた高関＝東京シティ・フィルは、ここへきて、ほんとうに目の離せないコンビになった。いやあ素晴らしい。

ハーモニーの変幻やフレーズの句読点を浮き彫りにし、ベートーヴェンが愛でた、しかし普段は目立たない信号音やファンファーレ風のフレーズにも光をあてるマエストロ。管弦打楽器への指示は例によって細かい。楽譜通りどころか、ベートーヴェンの狙いを「補う」仕掛けも満載だ。

最後の最後にも驚がくの創りが待っていた。音楽の型とドラマに尽くす高関の手に導かれ、飛翔するオーケストラ。決まった。

細部をあれこれ挙げることに意味はない。全編、指揮者の美学を映し出す輪郭のくっきりとした音に満ちていた——と音楽評論家風に締めくくると気がひけるが、記してしまった。フェスタ終盤の第9に大喝采。ステージ、客席のいい表情がすべてだった。

音楽評論家 奥田佳道



マエストロ高関健さんと「第九」独唱の皆様サインをいただきました!

8/8 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

お客様の声から♪

夏に聴く第九。高関さん指揮のメリハリをつけた現代風の演奏、感動しました(49歳・会社員・MIA) / 合唱の臨場感を味わいたくてP席をチョイス。大正解!大ブラヴォーでした(59歳・主婦・モリゾ) / リハーサルで高関さんの指示でもう一度演奏するとその様にさらに良くなるのが目の前で拝見できて非常に良かった(57歳・会社員・ヨハネス北) / 今日は母の命日です。その日に第九を聴けてさらに楽しめました。ありがとうございました(匿名) / 公開リハーサルでマエストロの要望に楽員一人一人が応えようとする姿、休憩時もマエストロを交えて楽員が話し合いをしている様子に信頼関係を感じた。今後がさらに楽しみ(62歳・講師・バビロン)

19歳の気鋭レビュアー拓やん、サマーミュージックを往く!

コラム



平岡拓也・大学生(19)

クラシック業界の謎? ~同じ曲目が短期間に集中~

若干ニッチな内容になるのですが、クラシック業界における謎の一つにあえて触れてみたいと思います。クラシック音楽の名曲の数々は、その膨大なゆえに我々を飽きさせません。一年を通して多様な曲が取り上げられますが、時々同じ曲の演奏が集中することがあります。そして多くの場合、どういふわけか「あまり演奏機会が多くない曲」の実演が重なってしまうの

です。ここ数年ではブルックナーの交響曲第8番やブラームスのドイツ・レクイエム。今年は、サマーミュージックで新日フィルが演奏した「惑星」が7,8月に集中しました。その曲のファンにとっては絶好の聴き比べチャンスですが、主催者としては悩ましい事態。この謎はいつか解決されるのでしょうか?

平岡さんのブログ「たくさん聴かな、あかんやん。」 <http://maestroinbal.blog.jp/>

2つの時代の傑作交響曲を聞き比べ！ 出張サマーミュージック@しんゆり!



8月8日(土) 東京交響楽団 会場：昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワ 撮影：藤本史昭

8月8日の「出張サマーミュージック@しんゆり!」は、「ジュピター」と「新世界より」という超人気曲2曲を東京交響楽団の演奏で聞く、おトクなプログラム。「のだめオーケストラ」を振ったことでも知られる梅田俊明氏の指揮で、18世紀後半と19世紀後半という、2つの時代の交響曲の傑作を聞き比べる機会となった。まずは、モーツァルト最後の交響曲、第

41番「ジュピター」。曲が始まると、モーツァルトのハ長調作品ならではの澄み切ったハーモニーに会場が包まれていく。梅田氏は、この曲が持っているスケール感を保ちつつも、どちらかといえば華やかに、軽やかにまとめ上げていた。ドヴォルザークの最後の交響曲、第9番「新世界より」は、「ジュピター」に比べると編成が大きくなり、音の厚みがぐっと増して、1世

紀という時代の違いを目と耳で実感。第2楽章、「遠き山に日は落ちて」でも知られるあの有名なイングリッシュホルンの旋律が始まると、会場は無言の一体感に包まれ、思わず胸が熱くなってしまった。そして、民謡を思わせるフレーズが印象的な第3楽章を経て、怒涛の第4楽章へ。潔いタクトから引き出された第一主題に胸を鷲づかみにされると、フィナーレに

向けて感情を揺さぶられっぱなし。おそらく、梅田氏も、2作品の時代の違いを、いつも以上に意識して振られたのではないか。この2曲を1公演で続けて聞いたのは初めてだったが、それぞれの特徴が際立って感じられた、面白い体験になった。

フリーライター 上原章江



パートナーショップのご紹介

エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

郷土名物「なごや」

アトレ川崎7F

総合プログラムP.95

パートナーショップガイドP.3



鰻を食べて夏を元気に乗り切りましょう!

心の栄養はフェスタのコンサートで充分!という方も、連日の高温続きで体はお疲れ気味では?回復には食べるのが一番!そこで、郷土名物「なごや」さんで「鰻のひつまぶし」をいただきました。甘辛なタレの香ばしさに食欲がわいてきま

す! 早速、1杯目。フワッと柔らかい身にタレのかかったご飯もおいしい~。赤だしの味噌汁も、汗をかいたからだに沁みます。おだしとネギ、ワサビでいただくさっぱりで食が進みます。他にも、「手羽唐」「みそカツ」「きしめ

ん」、デザートに「小倉トースト」などもおすすめ。食べて元気になりましょう。(Y)

サマーミュージック特典
ディナータイムのみ
飲食代10%OFF

友の会キャンペーン実施中

サマーミュージック期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージックオリジナルチケットホルダーをプレゼント! (~8月9日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

友の会会員カード提示で
ミュージック川崎駐車場
1時間無料サービス



詳しくは友の会入会カウンター(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

ホール内
ショップで発売中

●サマーミュージック
チケットホルダー
640円(税込)

チケットだけでなくA4チラシ
三つ折りも入ります。便利!

当日の感動をすぐお届け!!

毎日
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza



経営管理課 ぷ

ミュージックのスタッフには音楽経験者が多数います。音大出身者もいれば趣味でたしなむ者もあり、私も「下手の横好き」ではありませんが、数年前から音色が涼しげな「ステイラルパン」という打楽器を習っています。素人からのスタートなので、なかなか上達しないのですが、大人気で演奏するのはとても楽しい!そして、同じ時期に習い始めた仲間たちは、今、日本の裏側にある楽器の発祥地トリーニダド・トバゴで開催されている世界大会に、なんと日本代表として参加しています。私はスケジューリング上、泣く泣く断念...
音楽は「聴く楽しみ」も良いですが、「演奏する楽しみ」もまた格別。そして、年齢も職種も国籍も異なる新たな友人に出会える魅力があり、新しい世界を旅経験することもできます。皆様も興味のある楽器があれば、ぜひ体感してみてください!

スタッフ日記